

令和7年度
第1回 宇治市文化芸術推進委員会

次 第

日時：令和7年8月21日（木）
午後2時00分～
会場：宇治市職員会館 2階大会議室

1 開会

2 挨拶

3 議事等

- (1) 文化芸術振興基本計画における令和6年度の事業実施状況について・・・資料1
- (2) 紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトについて・・・資料2
- (3) 令和7年度の主な文化事業について・・・・・・・・・・資料3
- (4) 令和7年度「源氏ろまん2025」(案)について・・・・・・・・・・資料4

4 その他

5 閉会

宇治市文化芸術推進委員会 委員名簿
 (任期：令和6年8月17日 ～ 令和8年8月16日)

ふりがな 氏名	職名等
いわい とおる 岩井 亨	宇治市観光協会 副会長
こみやま きょうこ 小宮山 恭子	宇治市生涯学習審議会 委員長職務代理
しおみ けいこ 塩見 啓子	紫式部文学賞推薦委員会・紫式部市民文化賞選考委員会 委員
しげの ひろき 滋野 浩毅	京都産業大学 現代社会学部 教授
たまい そうぶん 玉井 宗文	宇治市茶道連盟 会長
つだ たかこ 津田 貴子	宇治市芸術文化協会 事務局長
なかたに まさお 中谷 雅夫	宇治田楽まつり実行委員会 会長
にしだ なおたけ 西田 尚武	宇治文化少年団 団長
ひだり みゆき 左 美幸	宇治商工会議所 青年部会員
ふくい ひろこ 福井 ひろ子	宇治市子ども会連絡協議会 副会長
やまもと じゅんこ 山本 淳子	京都先端科学大学 国際学術研究院 教授
よしみず としあき 吉水 利明	宇治市文化財愛護協会 理事長

オブザーバー

うめはら かずひさ 梅原 和久	京都府文化生活部文化政策室 室長
--------------------	------------------

宇治市文化芸術推進委員会設置要項

(目的)

第1条 「宇治市文化芸術振興条例」第9条第1項に定める「宇治市文化芸術振興基本計画（以下「計画」という。）」に基づき、文化芸術施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、宇治市文化芸術推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(審議事項)

第2条 委員会は次の各号に掲げる事項について、協議するものとする。

- (1) 文化芸術施策の総合的かつ計画的な推進に関する事。
- (2) 計画の進捗等に必要な事項に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 文化芸術活動に携わる者
- (3) 第1条の目的の遂行に関係のある者
- (4) その他市長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により決定する。

3 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

4 前項の委員長に事故があるとき又は不在のときは、あらかじめ委員長が指名する者が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じ委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、産業観光部文化スポーツ課において処理する。

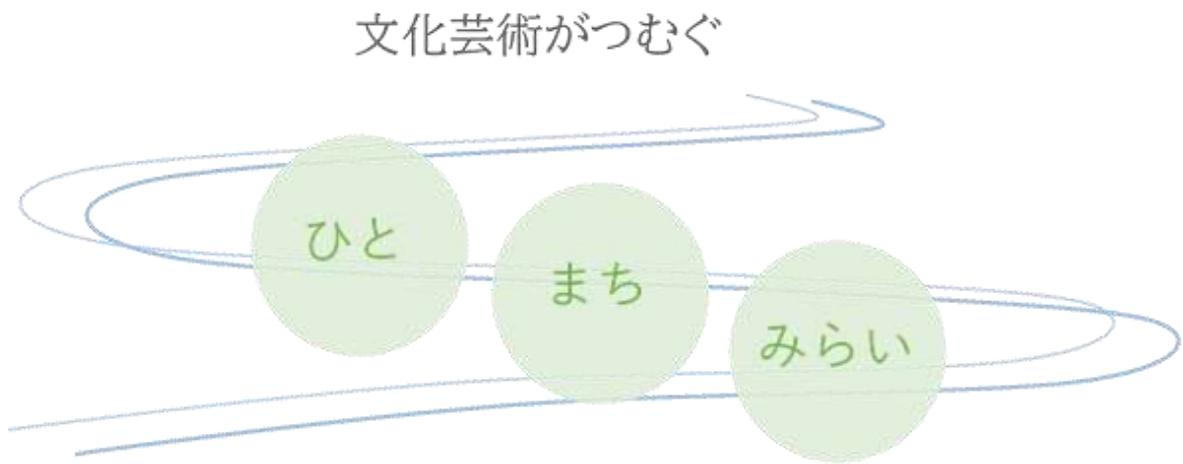
(補足)

第9条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会に諮って委員長が定めるものとする。

附 則

- 1 この要項は、令和4年7月11日から施行する。
- 2 この要項の施行後の最初の委員会の招集は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が行う。

(1) 文化芸術振興基本計画における令和6年度の事業実施状況について



令和6年度の主な事業実施状況 【抜粋(新規・拡充事業)】

令和6年度における、新規・拡充した主な事業の実施状況です。それぞれの実績から、課題について検証し次年度以降の取り組みに反映します。

① 五感で楽しむ古の文化講座

1 機会の充実

「五感で楽しむ」をコンセプトに、平安時代の文化に触れる体験型講座を実施しました。いずれの講座もほぼ定員に達し、幅広い世代の方々に平安時代の文化に触れる体験の機会を提供することが出来ました。

- ①春 [嗅覚] ゆかしき薫りーオリジナル煉香づくりー
日時：令和6年6月22日(土)、参加者：20名
- ②夏 [触覚・視覚] KEMARI 蹴鞠 WORLD!!ーアリ!ヤア!オウ!ー
日時：令和6年8月7日(水)、参加者：22名
- ③秋 [聴覚] 源氏物語を聴くー音色の彩りー
日時：令和6年12月15日(日)、参加者：ワークショップ20名、演奏会54名
- ④冬 [味覚] 平安スイーツ 粉熟を食べよう!ー歴食のススメー
日時：令和7年2月1日(土)、参加者：2回計35名



■文化とスポーツの融合及びプロスポーツとの連携

「KEMARI 蹴鞠 WORLD!!」では、「けまり鞠遊会」を講師に招き、平安時代からの伝統文化である蹴鞠の歴史や作法、「鹿革鞠」作りについて学んだ後、実際に蹴鞠を体験する講座を開催しました。

また、PR動画の作成や当日の講座の盛り上げなどを京都サンガF.C.とも連携し、文化とスポーツ双方に親しんで貰える講座にしました。



令和7年度も令和6年度に引き続き、講座内容等を検討しつつ、機会の充実に努めてまいります。

日本で昔から使われている「岩絵具」など日本古来の画材や技法により、源氏物語「宇治十帖」の世界をモチーフとした下絵に彩色を行い日本画を描き、ワークショップ参加者全員で合同作品を制作しました。

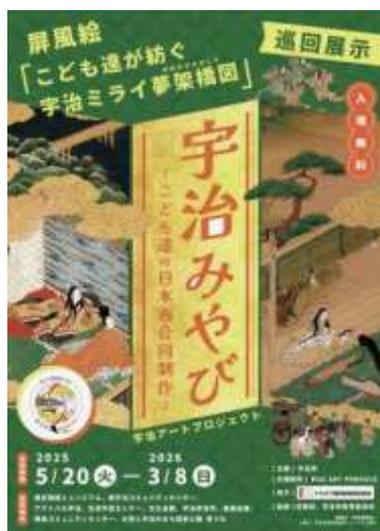
日本画や宇治の歴史や文化を学ぶことで、次世代を担う子供が、文化芸術に触れるとともに日本画の魅力を通して表現や伝達をする機会を提供することが出来ました。

日本画ワークショップ～板絵と屏風絵の制作～

- 日 時：①令和7年3月2日(日)、②8日(土)、③9日(日) 各日 12:30～16:30
- 場 所：中央公民館 実習室2
- 対 象：①小学校3・4年生、②小学校5・6年生、③中・高校生
- 参加者数：3回計36人(定員：各回20名)



令和7年度は、合同制作作品(屏風)の市内巡回展示を始めとする情報発信を実施することで、アートを通じた地域活性化とともに、様々な人々の交流創出を図ります。



③ 市民と創る紫式部ゆかりのアート展

1 機会の充実

お茶と宇治のまち歴史公園で開催する大河ドラマ展にあわせて、展示スペースを貸し出し。宇治アートプロジェクト「わたしの宇治十帖」写真ワークショップの作品や、市内在住等のグループ又は個人が「紫式部」や「源氏物語」をテーマに制作した絵画、写真、工芸品等のアート作品を展示しました。

観光客等が多く訪れる大河ドラマ展の会場に設けた特設の展示スペースを貸し出すことで、既存の展示スペースとは異なる新たな層に鑑賞してもらえる、市民等の文化芸術活動の発表の場を提供することが出来ました。

期間：令和6年3月11日(月)～令和7年1月13日(月・祝)

会場：お茶と宇治のまち交流館 茶づな

内容：①令和6年3月11日(月)～5月6日(月・祝)

宇治アートプロジェクト写真ワークショップ「わたしの宇治十帖」作品(約50点)

②令和6年5月7日(火)～令和7年1月13日(月・祝)

「紫式部」や「源氏物語」をテーマに市民公募した絵画、写真、工芸品等のアート作品を12団体(個人)が3週間ごとに展示替えをしながら実施

期間	出展団体(者)名	ジャンル
5/7～5/27	宇治剪画くらぶ「きらり」	剪画
5/28～6/17	靖枝	創作人形十二単
6/18～7/8	eri	写真
7/9～7/29	まゆの詩の仲間達	創作人形
7/30～8/19	佐藤正美	瓦絵
8/20～9/9	山城地方退職校舎長会	手工芸品
9/10～9/30	京都創造芸術協会 会長 山口溪華	絵画・陶器 宇治源氏物語
10/1～10/21	美花	絵画・書道
10/22～11/11	絵画サークル 彩葉	絵画
11/12～12/2	個人作品	絵画
12/3～12/23	アートフォーラム宇治	絵画
12/24～1/13	宇治っ子朗読劇団☆Genji	写真展



今後も、市民等の文化芸術活動の発表の機会の提供及び活動の促進を図る事業を実施し、文化に関わる市民を増やせるよう努めるとともに、紫式部ゆかりのまちとしての機運醸成につなげます。

④ 平安の息吹を感じる 秋の特別公開

1 機会の充実

市内のお寺が所蔵する平安時代に作られた仏像を特別公開しました。
初めての開催でしたが、各お寺への拝観者数は予想を大きく上回り、好評のうちに終えることができました。

日時：令和6年10月5日（土）、6日（日） 安養寺、放生院、恵心院
令和6年10月12日（土） 西導寺、蔵林寺
令和6年10月13日（日） 西導寺
拝観者数：1,475人（延べ）



【課題】

・広報についてはポスター掲示やチラシ配架のほか、市政だよりや SNS を活用したが、広報の仕方についてはもう一工夫必要であると感じた。



毎年実施するには相当の予算を要し、社寺との調整も必要となるため難しい面もあるが、好評であったため折を見て実施していきたい。

⑤ 中宇治地域まち歩き
AR 平安時代の宇治さんぽツアー

1 機会の充実

中宇治地域をまち歩きしながら、宇治十帖の古蹟、平安時代から由緒のある神社、平安時代の邸宅跡、平安時代から残る街路を巡り、参加者に当時の姿を思い描いてもらう企画を実施しました。

スマートフォンのアプリを利用したARで、平安時代のまちなみを再現し、現代の街並みと比較して、より一層宇治に思いを馳せてもらうことができ、参加者からは好評の声をいただきました。

日 時：令和6年7月13日（土）、14日（日）
いずれも午前の部 10時～、午後の部 13時～
参加者数：10名（13日午前）、5名（13日午後）、6名（14日午前）、4名（14日午後）



【課題】

・参加者からは好評の声をいただいたが、開催時期が夏場であったこともあり、午後の部の参加者は両日とも少なかった。今後開催するときは、夏場や観光シーズンを避けて実施すべきである（今後の実施については未定）。



この事業のために作成したARアプリは今後も使用できるので、ボランティアガイドクラブなどでツアーを組んで使用してもらうことを検討している。

⑥ 平安時代のミニチュア製作体験

1 機会の充実

小・中学生を対象に、平安時代の遺跡から発掘された鏡と瓦のミニチュアの製作体験をしてもらう講座を実施しました。

日	時	鏡の製作体験	令和6年12月14日(土) 午前の部、午後の部
		瓦の製作体験	令和6年12月15日(日) 午前の部、午後の部
参加者数		鏡の製作体験	午前の部3組、午後の部5組
		瓦の製作体験	午前の部0組、午後の部1組



【課題】

- ・参加定員を午前・午後とも12組に設定していたが、いずれの部も定員に満たない参加者数であった。
- ・参加者からは好評をいただいているので、企画自体に問題はなく広報の仕方に問題があったと思われるため、広報の仕方を検討する必要がある。



令和7年度も令和6年度に引き続き実施する。参加者増加のために広報の検討が必要である。

⑦ 宇治のまち魅力再発見事業

1 機会の充実

大河ドラマ「光る君へ」の放送を機に、宇治市立小学校の全6年生児童を対象として、中宇治地域をフィールドワークすることで、自分たちが暮らす宇治のまちが、紫式部にゆかりのあることを学び、改めてまちの魅力を再発見する事業を実施しました。

小学生がふるさと宇治に愛着や誇りを持つ良い機会となるとともに、事業で使用したワークシートを家庭に持ち帰ることで、保護者の関心を高めることも出来ました。

参加者：宇治市立小学校全6年生児童対象。参加児童数 1434 人。引率教員数 83 人。



令和7年度以降は各学校における宇治学(総合的な学習の時間)での取り組みとして、フィールドワーク等を実施します。

⑧ 百人一首大会

1 機会の充実

「古典の日フォーラム2024」が宇治市で開催されることを記念して、宇治市在住の小学生が古典に親しむ機会を創出するとともに、他校児童との交流や学びの場となるよう、百人一首大会を開催しました。市内各地から定員(60名)に近い参加者が集まりました。

参加者：低学年 22 名、高学年 32 名。



令和7年度以降も小学生が古典に親しみ、参加者同士が交流できる場となるよう、事業内容を見直しつつ継続していきます。

庁舎内に常設のアートスペース(カフェを併設)を整備し、障害のある方の創作活動と社会参加を促進するとともに、多分野連携による障害者アートの取組を通じて共生社会の実現を図るため、展覧会及び関連企画を実施しました。

新たな交流や活動のきっかけになっており、障害者アートの多様な表現や魅力、可能性を広く発信し、共生社会の実現に向けた取組を推進することができました。

〈展覧会〉

尾上瑞紀展ー地球は人間だけが主役じゃないー

会期：令和6年11月25日（月）～令和7年5月16日（金）

〈関連企画〉

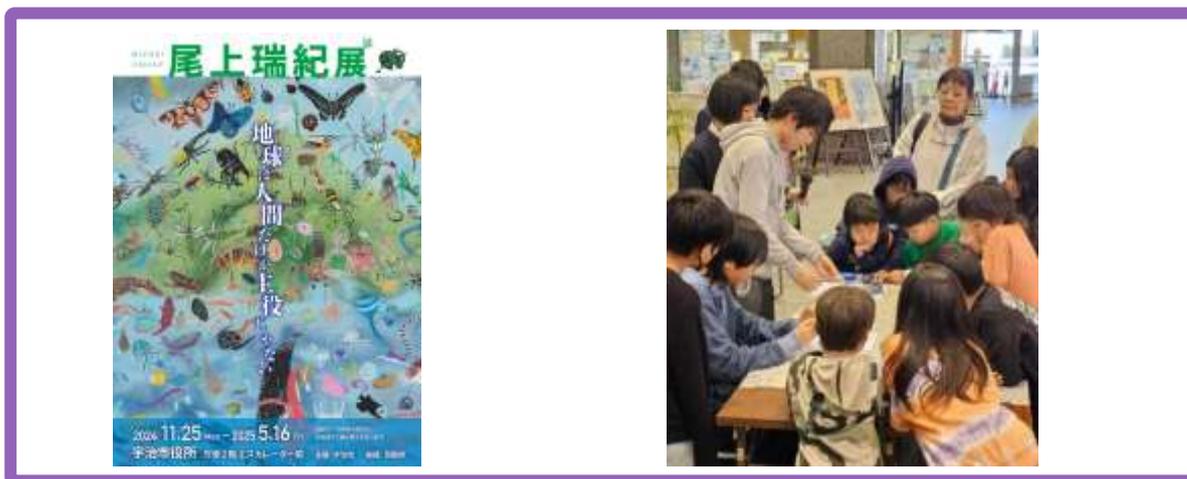
オープニングセレモニー

開催日：令和6年11月25日（月）

ワークショップ”紙粘土でウミウシをつくろう！”

開催日：令和7年2月8日（土）

参加者：小学生親子12組30名



【課題】

・アーティストの発掘



令和7年度も令和6年度に引き続き、展覧会の開催及び関連企画を実施します。令和7年度新たに立ち上げる運営会議で事業展開について検討します。

〈展覧会〉 **開催中**

Gardenー林晃彦と志津川福祉の園ー

会期：令和7年6月9日（月）～令和7年11月21日（金）

〈関連企画〉

ギャラリートーク

開催日：令和7年6月9日（月）

お茶会①水出し宇治茶

開催日：令和7年8月7日（木）

お茶会②宇治抹茶

開催日：令和7年10月16日（木）

⑩ お茶摘みバンク

4 担い手・支え手育成

宇治市では、伝統的な手摘みが今も行われており、お茶摘みさんが一葉一葉丁寧に手で摘むことで、品質の高いお茶が出来上がりますが、茶農家さんはお茶摘みさん不足に悩まされているため、お茶摘みをしたい人と茶農家さんをマッチングするお茶摘みさんの登録制度「お茶摘みバンク」を開設しました。

お茶摘みバンクを通して7名のマッチングが成立し、一定の成果を得ることができました。

実績：登録者数 21 名、うちマッチング成立 7 名。



令和7年度も引き続き実施し、より多くの方に活用していただけるよう制度の見直し等を行い、登録数・マッチング率のさらなる向上を目指します。

源氏物語ミュージアムの特別企画展は、歴史資料館の特別展と隔年で実施しており、令和6年度は歴史資料館の特別展開催年度でしたが、令和6年1月から放送された大河ドラマ「光る君へ」の放送にあわせて実施しました。

令和6年度の特別企画展では、『源氏物語』に関する江戸時代の注釈書や関連書籍のほか、屏風絵などの絵画や工芸品など、他館の史料も含めて、『源氏物語』の世界を紹介しました。

「『源氏物語』が呼んでいる—拡がる古典の世界—」

会 期：令和6年7月10日(水)～9月29日(日)

入館者数：45,066人



令和7年度も、大河ドラマの放送などによって高まった『源氏物語』への関心を一過性で終わらせないため、引き続き、特別企画展を開催し、併せて効果的な情報発信を行います。

令和6年度主な事業の実施状況について 【全体】

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	昼休憩時間にミニコンサートを開催。気軽な音楽活動を発表する場として市庁舎を提供し、音楽文化の促進と市民相互の交流を図る。
主な市の事業 (令和6年度)	市民交流ロビーコンサート 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	昼休憩時間の午後0時15分～45分に、市役所1階市民交流ロビーを会場として全17回開催した。 延べ観覧者数:1,960人
検証・評価	分析・考察	市民交流ロビーコンサートを開催することで、文化芸術の発表にとどまらず、市庁舎という身近な場所で、広く市民に文化芸術に触れる機会を提供することができた。	
	今後の取組方針	市民等による文化芸術活動と身近に出会う機会の充実に向けた効果的な手法について、引き続き検討していく必要がある。 より多くの市民に音楽に親しむ機会を広く提供していく。	
			

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	研究者や作家を講師として『源氏物語』の理解を深め広めることを目的に開催している。 令和6年度は「描かれた源氏物語一字治十帖から」と題して実施した。
主な市の事業 (令和6年度)	(源氏ろまん事業) 源氏物語セミナー 博物館管理課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	開催日:令和6年11月29日(金) 参加者数:112人
検証・評価	分析・考察	本セミナーは研究機関である大学の研究成果と市民とを結びつける機会となっている。	
	今後の取組方針	最新の研究成果も含め、「源氏物語」の魅力をより一層紹介する源氏物語セミナーを開催する。	
			

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために市営茶室「対鳳庵」を設置している。 宇治を訪れる観光客に本場の宇治茶を気軽に味わってもらっている。
主な市の事業 (令和6年度)	市営茶室対鳳庵 観光振興課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	入席者数20,940人 (有料券:20,241人、招待券:699人)
検証・評価	分析・考察	令和5年度の入席者数14,568人に比べ大幅に増加した。インバウンドの利用が多く、入席者全体の約7割を占めた。また、12月よりキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性向上に寄与し、令和5年の時よりも入席者数は増加した。	
	今後の取組方針	インバウンド受け入れ態勢の強化を図りつつ、より多くの方への茶道の普及及び観光の振興に努める。	
			

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	生涯学習センター1階ロビーを市民の生涯学習の発表の場として開放している(1団体・個人ごと最大7日間)。 展示期間中は市民向けのミニ講習会を開くことが可能。
主な市の事業 (令和6年度)	生涯学習センター ロビー展示 生涯学習課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	展示団体数:43団体 展示日数:延べ229日 (上記とは別に源氏物語ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの一環で、市民団体等の協力により生涯学習センター主催「源氏物語ゆかりの作品展」を実施(延べ18日))
検証・評価	分析・考察	前年度と比較して展示団体数(40団体)展示日数(延べ232日)とも同水準の実績だった。	
	今後の取組方針	展示団体数、来場者数、展示団体と来場者の交流機会の増加に向け、より一層広報を工夫する。	
			

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	「五感で楽しむ」をコンセプトに、平安時代の文化に触れる体験型講座を実施する。
主な市の事業 (令和6年度)	五感で楽しむ古の文化講座 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	①春[嗅覚]ゆかしき薫り—オリジナル煉香づくり— 日時:令和6年6月22日(土)、参加者:20名 ②夏[触覚・視覚]KEMARI 蹴鞠 WORLD!! —アリ!ヤア!オウ!— 日時:令和6年8月7日(水)、参加者:22名 ③秋[聴覚]源氏物語を聴く—音色の彩り— 日時:令和6年12月15日(日) 参加者:ワークショップ20名、演奏会54名 ④冬[味覚]平安スイーツ 粉熟を食べよう!—歴食のススメ— 日時:令和7年2月1日(土)、参加者:2回計 35名
検証・評価	分析・考察	いずれの講座もほぼ定員に達し、幅広い世代の方々に平安時代の文化に触れる体験の機会を提供することができた。	
	今後の取組方針	令和7年度も、講座内容を検討しつつ実施する。	
			

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	日本で昔から使われている「岩絵具」など日本古来の画材や技法により、源氏物語「宇治十帖」の世界をモチーフとした下絵に彩色を行い日本画を描き、ワークショップ参加者全員で合同作品を制作。
主な市の事業 (令和6年度)	宇治アートプロジェクト 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	日本画ワークショップ～板絵と屏風絵の制作～ 日時:①令和7年3月2日(日)、②8日(土)、③9日(日) 各日12:30～16:30 場所:中央公民館 実習室2 対象:①小学校3・4年生、②小学校5・6年生、③中・高校生 参加者数:3回計36人(定員:各回20名)
検証・評価	分析・考察	日本画や宇治の歴史や文化を学ぶことで、次世代を担う子供が、文化芸術に触れるとともに日本画の魅力を通して表現や伝達をする機会を提供することが出来た。	
	今後の取組方針	今後は、合同制作作品(屏風)の市内巡回展示を始めとする情報発信を実施することで、アートを通じた地域活性化とともに、様々な人々の交流創出を図る。	
			

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	お茶と宇治のまち歴史公園で開催する大河ドラマ展にあわせて、展示スペースを貸し出し。 宇治アートプロジェクト「わたしの宇治十帖」写真ワークショップの作品や、市内在住等のグループ又は個人が「紫式部」や「源氏物語」をテーマに制作した絵画、写真、工芸品等のアート作品を展示。
主な市の事業 (令和6年度)	市民と創る紫式部ゆかりの アート展 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	期間:令和6年3月11日(月)～令和7年1月13日(月・祝) 会場:お茶と宇治のまち交流館 茶づな ①令和6年3月11日(月)～5月6日(月・祝) 宇治アートプロジェクト 写真ワークショップ 「わたしの宇治十帖」作品(約50点) ②令和6年5月7日(火)～令和7年1月13日(月・祝) 「紫式部」や「源氏物語」をテーマにした絵画、写真、 工芸品等のアート作品を12団体(個人)が3週間ごとに 展示替えをしながら実施
検証・評価	分析・考察	観光客等が多く訪れる大河ドラマ展の会場に設けた特設の展示スペースを貸し出すことで、既存の展示スペースとは異なる新たな層に鑑賞してもらえる、市民等の文化芸術活動の発表の場を提供することができた。	
	今後の取組方針	今後も、市民等の文化芸術活動の発表の機会の提供及び活動の促進を図る事業を実施し、文化に関わる市民を増やせるよう努めるとともに、紫式部ゆかりのまちとしての機運醸成につなげる。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	『源氏物語』及び平安時代の文化についてより理解を深めるため、研究者を講師とした全10回の連続講座を開催している。
主な市の事業 (令和6年度)	源氏物語ミュージアム 連続講座 博物館管理課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和6年5月～令和7年2月(全10回) 各講座とも 14:00～15:30 会場:源氏物語ミュージアム(一部文化センター小ホール) 参加者数:1,469人(延べ)
検証・評価	分析・考察	令和6年度は、「紫式部とその時代」をテーマとして実施した。各回とも定員を超える応募があり、参加者の興味、関心が高いことがうかがえる。また、大学をはじめとする研究機関の研究結果と市民とを結びつける機会となっている。	
	今後の取組方針	最新の研究成果も含め、「源氏物語」の魅力をより一層紹介する連続講座を開催する。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	学芸員による『源氏物語』及び平安時代の基礎知識などについて解説する講座。
主な市の事業 (令和6年度)	源氏物語ミュージアム 入門講座 博物館管理課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和6年6月～令和7年2月(全9回) 各講座とも10:00～11:30 会場:源氏物語ミュージアム 参加者数:852人(延べ)
検証・評価	分析・考察	令和6年度は、「超！入門講座 宇治で源氏物語を読むために」として実施した。定員を超える応募があり、参加者の興味、関心が高いことがうかがえる。	
	今後の取組方針	多様な視点から「源氏物語」ならびにその舞台となった宇治の魅力を紹介する入門講座を開催する。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	市内のお寺が所蔵する平安時代に作られた仏像を特別公開する。
主な市の事業 (令和6年度)	平安の息吹を感じる 秋の特別公開 歴史まちづくり推進課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和6年10月5日(土)、6日(日) 安養寺、放生院、恵心院 令和6年10月12日(土) 西導寺、蔵林寺 令和6年10月13日(日) 西導寺 拝観者数:1,475人(延べ)
検証・評価	分析・考察	初めての開催ということであったが、各お寺への拝観者数は予想を大きく上回り、好評のうちに終わることができた。一方で、広報についてはポスター掲示やチラシ配架のほか、市政だよりやSNSを活用したが、広報の仕方についてはもう一工夫必要であると感じた。	
	今後の取組方針	毎年実施するには相当の予算を要し、社寺との調整も必要となるため難しい面もある。しかし、好評であったため折を見て実施していきたい。	



<p>取り組む柱</p>	<p>1 機会の充実</p>	<p>事業概要</p>	<p>中宇治地域をまち歩きしながら、宇治十帖の古蹟、平安時代から由緒のある神社、平安時代の邸宅跡、平安時代から残る街路を巡り、参加者に当時の姿を思い描いてもらうという企画。また、スマートフォンのアプリを利用したARで、平安時代のまちなみを再現し、現代の街並みと比較して、より一層宇治に思いを馳せてもらう。</p>
<p>主な市の事業 (令和6年度)</p>	<p>中宇治地域まち歩き AR平安時代の 宇治さんぼツアー 歴史まちづくり推進課</p>	<p>令和6年度実績 (日程・参加者数等)</p>	<p>日時: 令和6年7月13日(土)、14日(日) いずれも午前の部10時から、午後の部13時から 参加者数: 10名(13日午前)、5名(13日午後) 6名(14日午前)、4名(14日午後)</p>
<p>検証・評価</p>	<p>分析・考察</p>	<p>参加者からは好評の声をいただいたが、開催時期が夏場であったこともあり、午後の部の参加者は両日とも少なかった。 今後開催するときは、夏場や観光シーズンを避けて実施すべきである。</p>	
	<p>今後の取組方針</p>	<p>今後の実施については未定。 この事業のために作成したARアプリは、今後も使用できるので、ボランティアガイドクラブなどでツアーを組んで使用してもらうことを検討している。</p>	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	小・中学生を対象に、平安時代の遺跡から発掘された鏡と瓦のミニチュアの製作体験をしてもらう。(小学生は保護者同伴)
主な市の事業 (令和6年度)	平安時代のミニチュア製作体験 歴史まちづくり推進課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	日時:鏡の製作体験 令和6年12月14日(土)午前・午後の部 瓦の製作体験 令和6年12月15日(日)午前・午後の部 参加者数:鏡の製作体験 午前の部 3組、午後の部 5組 瓦の製作体験 午前の部 0組、午後の部 1組
検証・評価	分析・考察	参加定員を午前・午後とも12組に設定していたが、いずれの部も定員に満たない参加者数であった。参加者からは好評をいただいているので、企画自体に問題はなく広報の仕方に問題があったものと思われる。 今後開催するときは、広報の仕方を検討する必要があるものとする。	
	今後の取組方針	令和7年度に再度実施する。 参加者増加のために広報の検討が必要である。	
			

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	大河ドラマ「光る君へ」の放送を機に、宇治市立小学校の全6年生児童を対象として、中宇治地域をフィールドワークすることで、自分たちが暮らす宇治のまちが、紫式部にゆかりのあることを学び、改めてまちの魅力を再発見する事業を実施。
主な市の事業 (令和6年度)	宇治のまち魅力再発見事業 生涯学習課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	宇治市立小学校全6年生児童対象。 参加児童数1434人。引率教員数83人。
検証・評価	分析・考察	小学生がふるさと宇治に愛着や誇りを持つ良い機会となるとともに、事業で使用したワークシートを家庭に持ち帰ることで、保護者の関心を高めることも出来た。	
	今後の取組方針	令和6年度は「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」での取り組みであったが、令和7年度以降は各学校における宇治学(総合的な学習の時間)での取り組みとして、フィールドワーク等を実施する。	
			

<p>取り組む柱</p>	<p>1 機会の充実</p>	<p>事業概要</p>	<p>「古典の日フォーラム2024」が宇治市で開催されることを記念して、宇治市在住の小学生が古典に親しむ機会を創出するとともに、他校児童との交流や学びの場となるよう、百人一首大会を開催した。</p>
<p>主な市の事業 (令和6年度)</p>	<p>百人一首大会 生涯学習課</p>	<p>令和6年度実績 (日程・参加者数等)</p>	<p>参加者:低学年22名、高学年32名</p>
<p>検証・評価</p>	<p>分析・考察</p>	<p>市内小学校に大会チラシを配架したところ、ほぼ定員(60名)に近い参加者が、各学校や学年から集まった。</p>	
	<p>今後の取組方針</p>	<p>引き続き、小学生が古典に親しみ、参加者同士が交流できる場となるよう、事業内容を検討し継続する。</p>	
			

取り組む柱	2 交流の促進	事業概要	文化意識の高揚と文化芸術活動の推進を目指し、市民等が日頃の文化芸術活動の成果を発表。文化芸術活動者間の交流と文化芸術活動の活性化を図るため、市民文化芸術祭を実施する。
主な市の事業 (令和6年度)	市民文化芸術祭 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和6年10月26日(土) 10:00~17:00 27日(日) 10:00~16:00 場所:宇治市文化会館(舞台の部) 宇治市中央公民館(展示の部) (展示の部) 出展者 198人[13団体]/入場者 850人 (舞台の部) 出演者 536人[27団体]/入場者 3,550人 (茶席) 出展者 15人[2団体]/入場者 96人
検証・評価	分析・考察	各団体の活動者及び参加者(出展者・出演者)数が減少し、それに伴い、入場者数も減少してきているが、事前周知に務める他参加者体験型事業を実施し、参加者の増加につながった。	
	今後の取組方針	参加事業を含めた市民文化芸術祭全体のあり方について、検討が必要である。	
			

取り組む柱	2 交流の促進	事業概要	宇治橋周辺の宇治十帖ゆかりの地など21箇所をスタンプスポットとし、スマートフォン等のGPS機能を使用したデジタルスタンプラリーを実施する。スマートフォンを持っていない人向けにはウォーキングマップを準備する。
主な市の事業 (令和6年度)	(源氏ろまん事業) 宇治十帖スタンプラリー 観光振興課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	開催日:令和6年10月1日(水)~11月30日(日) 踏破者数:7,113人 (スマートフォン4,458人、ウォーキングマップ2,655人)
検証・評価	分析・考察	地域の商店街で利用できる共通利用券や宇治市内での体験チケットを賞品に取り入れるなど地域への波及効果や事業の魅力アップを図った。天候や他のイベントと時期が重なったこともあり、令和5年度よりも踏破者数はやや下回った。内訳においてスマートフォンではなく、ウォーキングマップを利用される方が増加した。	
	今後の取組方針	「紫式部と源氏物語ゆかりのまち」としての宇治の歴史・文化・観光の魅力を市内外の多くの方々へPRすることを目指し、参加者数増加に向けた事業実施方法の検討を進める。	
			

取り組む柱	2 交流の促進	事業概要	生涯学習に取り組んでいる人の発表・交流の場とすると共に、これから何かを始めたい人のきっかけづくりの場として開催している。市民公募による実行委員会形式。
主な市の事業 (令和6年度)	宇治まなびんぐ 生涯学習課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	開催日：令和7年2月15日(土)～2月16日(日) 出展者：37団体・個人 参加者：752人
検証・評価	分析・考察	例年と同規模の出展者数があり、学習活動の発表と交流の場、参加者のきっかけ作りの場とすることができた。今後も実行委員の前向きなアイデアを大事にしなが、出展者参加者・実行委員が学び合う場の充実を図る。	
	今後の取組方針	出展者数、参加者数、出展者と参加者の交流機会の増加に向け、実行委員とともに引き続き新しい工夫や企画を検討する。	



取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	市内の高校生による自主的・創造的な文化芸術活動の成果発表を通じて、若年層の文化活芸術動者の学校を越えた交流を図る。
主な市の事業 (令和6年度)	高校生文化芸術祭典 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和6年12月7日(土)10:00～17:00 場所:宇治市文化センター 出演者 250人[15団体]／入場者 1,320人
検証・評価	分析・考察	高校生の文化芸術活動の発表や作品の鑑賞を通じて、互いの活動や工夫等の情報交換の場を創出し、新たなつながりや活動を生み出す機会を提供できた。	
	今後の取組方針	参加者同士の更なる交流の場とするための効果的な手法を検討する必要がある。	
		 	

取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	数々の古典文学の舞台となった文化的伝統の継承・発展を図り、市民文化の向上に資することを目的として実施する。
主な市の事業 (令和6年度)	(源氏ろまん事業) 紫式部市民文化賞 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	<紫式部市民文化賞贈呈式> 日時:令和6年11月23日(土祝) 13:30～14:30 場所:宇治市文化会館 大ホール (受賞作)松村信二氏 『雲に棲む - 榎島昭光伝 -』 宮崎周子氏・宮崎健創氏 『ドイツアルプスのリュフトル画』 (奨励賞)飯島栄子氏 『宇治歴史ひとりあるき』 (ユース賞)小野田磨柚氏 『春のみなとは知らねども - 女陰陽師と鬼女の散逸譚 -』
検証・評価	分析・考察	市販されていない作品を受賞作品集として冊子化し頒布するとともに、市内図書館及び市内小中学校・高校等に配布し、多くの方が手に取りやすいようにした。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。 応募者数増加へ向けて、広報手段等の検討が必要である。	
		 	

取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	多様な媒体を活用した文化芸術に関する情報発信のため、インターネット上の動画配信という形で、市内で活動している団体・個人の文化芸術作品を専用のYouTubeチャンネルにて配信を行う。動画撮影・編集講座を開催する。
主な市の事業 (令和6年度)	文化芸術活動おうえんチャンネル 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	YouTube内の「宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル」で、市内で文化芸術活動をされている個人・団体等が作成された動画を配信した。また、動画撮影・編集講座を4会場、計8日間開催した。 ・配信動画数 65本 ・延べ視聴回数 232,767回(令和7年3月末時点) ・動画撮影・編集講座参加者数 24人
検証・評価	分析・考察	文化芸術活動を広く発表する場を提供することができた。動画配信で市内外の多くの人に見ていただくことで、文化芸術に触れる機会を充実することができた。	
	今後の取組方針	おうえんチャンネル内の動画投稿数の更なる増加を目指す。	



取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	高齢者の生きがいづくりや高齢者の今後の活動をより充実したものに支援するため、京都文教学園と連携し、大学の特色を生かした多世代での交流など、さまざまな活動を通じ、学びを提供した。
主な市の事業 (令和6年度)	高齢者アカデミー 長寿生きがい課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	通年実施 入学者数:9人 卒業生数:16人
検証・評価	分析・考察	高齢者の交流の機会の創出と生きがいづくりを促進することができた。	
	今後の取組方針	引き続き京都文教学園と連携し、受講生が自ら地域課題を考え、研究し、卒業後に地域で活躍・貢献できる仕組みづくりを進める。	



取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	「文化芸術がつむぐ ひと・まち・みらい」の実現に向け、宇治の豊かな歴史と文化を未来に継承し、自主的かつ創造的な文化芸術活動に要する経費について補助金を交付する。
主な市の事業 (令和6年度)	つむぐみらい文化芸術活動支援事業 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	補助金交付件数:9件 補助金交付総額:719,000円 (補助対象事業内訳) ・文化芸術の継承や活動者の育成 … 2件 ・文化芸術の創造及び地域の活性化 … 7件
検証・評価	分析・考察	令和6年度は第3次募集まで実施し、令和5年度実績を大きく上回る件数・金額となった。予算枠の上限には達しなかったが、文化芸術活動の創造及び地域の活性化等に繋がった。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。 申請件数等の増加へ向けて、募集期間の拡大や広報手段等の検討する必要がある。	



取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	庁舎内に常設のアートスペース(カフェを併設)を整備し、障害のある方の創作活動の促進と社会参加を促進するとともに、多分野連携による障害者アートの取組を通じて共生社会の実現を図るため、展覧会及び関連企画を実施する。
主な市の事業 (令和6年度)	障害者文化芸術活動振興事業 障害福祉課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	庁舎2階エスカレーター前にアートスペース(カフェ併設)を整備し、展覧会及び関連企画を実施した。 「尾上瑞紀展ー地球は人間だけが主役じゃないー」 会期:令和6年11月25日(月)～令和7年5月16日(金) [オープニングセレモニー] 令和6年11月25日(月) [ワークショップ] 紙粘土でウミウシをつくろう! 令和7年2月8日(土) 参加者:小学生親子12組30名
検証・評価	分析・考察	新たな交流や活動のきっかけになっており、障害者アートの多様な表現や魅力、可能性を広く発信し、共生社会の実現に向けた取り組みを推進することができた。	
	今後の取組方針	引続き展覧会の開催及び関連企画を実施する。 アーティストの発掘が課題であり、令和7年度新たに立ち上げる運営会議で事業展開について議論していく。	



取り組む柱	4 担い手 ・支え手育成	事業概要	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事等に出演する。
主な市の事業 (令和6年度)	少年少女合唱団 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約20人で、土曜日午後の練習、コンサート出演などの活動を行い、令和6年度は、兵庫県姫路市で開催された全日本少年少女合唱祭全国大会に参加した。
検証・評価	分析・考察	合唱団活動に取り組むことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。	
	今後の取組方針	今後もさらなる活性化に向けて、市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努めるとともに、合唱団活動という体験をきっかけに文化芸術の担い手を育成していく、持続可能な運営手法について検討する必要がある。	



取り組む柱	4 担い手 ・支え手育成	事業概要	市内の小・中学生及び高校生等の文化に関する意識の高揚や振興を図るため、文化活動に関して優秀な成績を収めた者又は顕著な成果を挙げた者に対し、市長が表彰し、その顕彰をするものである。
主な市の事業 (令和6年度)	市ジュニア文化賞・ジュニア文化奨励賞 生涯学習課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	ジュニア文化賞受賞者・団体:7件 ジュニア文化奨励賞受賞者・団体:3件
検証・評価	分析・考察	受賞者・団体数は令和5年度(ジュニア文化賞9件、ジュニア文化奨励賞0件)と同程度であった。コンクール等により選出されたものではないが、宇治市を含めた地域社会への貢献が期待できる作品など、これまででない幅広い分野からの推薦があった。	
	今後の取組方針	引き続き、市内の小・中学校、市内及び近隣の高校に推薦依頼し、候補者を募るとともに、情報収集に努める。	



取り組む柱	4 担い手 ・支え手育成	事業概要	市内産宇治茶を長年支えていただいているお茶摘みさんに感謝を示すとともに、今後も手摘みを担っていくモチベーションにしていただくため、通算30年以上お茶摘みに従事し、現在も現役で取り組んでおられる方を対象に、市制施行記念式典にて感謝状を贈呈する。
主な市の事業 (令和6年度)	お茶摘みさんへの 感謝状贈呈 農林茶業課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	お茶摘みさん13名に宇治市制施行記念式典にて感謝状を贈呈
検証・評価	分析・考察	市内産宇治茶の伝統を支えておられることを再認識していただき、手摘みを続けることへのやりがいを感じていただくきっかけとすることができた。	
	今後の取組方針	市内産宇治茶の伝統を将来に継承していくため、継続して取り組む。	

取り組む柱	4 担い手 ・支え手育成	事業概要	宇治市では、伝統的な手摘みが今も行われており、お茶摘みさんが一葉一葉丁寧に手で摘むことで、品質の高いお茶が出来上がるが、茶農家さんはお茶摘みさん不足に悩まされているため、お茶摘みをしたい人と茶農家さんをマッチングするお茶摘みさんの登録制度「お茶摘みバンク」を開設した。
主な市の事業 (令和6年度)	お茶摘みバンク 農林茶業課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	登録者数、21名。うちマッチング成立、7名。
検証・評価	分析・考察	お茶摘みバンクを通して7名のマッチングが成立し、一定の成果が得られた。	
	今後の取組方針	より多くの方に活用していただけるよう広く周知に努め、登録数・マッチング率のさらなる向上を目指す。	

取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	宇治茶の伝統的な「手摘み」を体験していただくとともに、新茶の振る舞いを行い、宇治市の伝統産業であり、特産品でもある宇治茶の普及啓発を図る。
主な市の事業 (令和6年度)	市民茶摘みのつどい 農林茶業課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和6年5月12日(日)午前10～12時まで 場所:茶業センター 定員:200名(先着)とし、200名参加。 30分刻み50名ずつ×4回
検証・評価	分析・考察	先着順予約制であり、すぐにイベントの定員200名が埋まった。宇治ならではの「お茶摘み」の人気度がうかがえる。	
	今後の取組方針	宇治茶の良き伝統をより身近に感じていただく機会とするため、継続して開催していく。	
			

取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	伝統ある日本女性文学の継承・発展と、市民文化の向上に資することを目的として実施する。受賞者講演会を開催したり、市政だよりにもコラムを掲載することで、市民に宇治市の魅力を再認識してもらう。
主な市の事業 (令和6年度)	(源氏ろまん事業) 紫式部文学賞 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	<紫式部文学賞贈呈式及び講演会> 開催日:令和6年11月23日(土・祝) 場 所:宇治市文化会館 大ホール 贈呈式:13:30～14:30 講演会:15:00～16:00 参加者数:200人 受賞作:皆川博子氏『風配図 WIND ROSE』
検証・評価	分析・考察	伝統ある日本女性文学の継承・発展と、市民文化の向上が図れた。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。より多くの市民が誇りと愛着を持って関われる賞になるよう、実施方法を検討していく必要がある。	
 			

取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	平安時代の民俗芸能である田楽を市民のまつり「宇治田楽」として復活、京都府立宇治公園(中の島)で披露する。
主な市の事業 (令和6年度)	(源氏ろまん事業) 宇治田楽まつり 文化スポーツ課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和6年10月19日(土) 17:00~19:00 場所:宇治市文化会館 大ホール ※雨天のため 参加者数:900人
検証・評価	分析・考察	地域の個性あふれる文化芸術活動の鑑賞・体験により、市民が宇治市の魅力を再認識する機会を創出し、市民文化の向上が図れた。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。 より多くの市民の方に、まつりの魅力が伝えられるよう、広報周知に努める。	
			

取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	宇治茶の魅力や宇治の歴史・文化を発信するため、ミュージアム運営および各種事業を実施した。
主な市の事業 (令和6年度)	お茶と宇治のまち歴史公園 観光振興課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	ミュージアム入館者数 43,271人 講座・体験事業参加者数 20,515人
検証・評価	分析・考察	HPやSNSで幅広く広報活動をしたことや、OTAと契約することで旅行者が予約できる選択肢を増やしたことが集客につながったと考えられる。また、利用者への口コミ投稿を促すキャンペーンや、体験・大河ドラマ展とミュージアムのセット券を販売したことも入館者増につながった。	
	今後の取組方針	入館者の増加に向け、情報発信の更なる強化を検討する。	
			

取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	様々な視点から、『源氏物語』をはじめとする古典や宇治の歴史などについて紹介する企画展を実施。
主な市の事業 (令和6年度)	源氏物語ミュージアム 企画展 博物館管理課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「絵になる源氏」 会期:令和6年4月24日(水)～7月7日(日) 観覧者数:56,224人 ・「光る君の面影をもとめて」 会期:令和6年10月2日(水)～12月15日(日) 入館者数:64,314人 ・「平家はどうする」 会期:令和6年12月18日(水)～令和7年2月16日(日) 入館者数:23,169人 ・「UKIYO 江戸時代の出版文化と古典の世界」 会期:令和7年2月19日(水)～4月20日(日) 入館者数:20,279人
検証・評価	分析・考察	令和6年度は、『源氏物語』や『平家物語』などを題材にした絵画資料を紹介する企画展「絵になる源氏」や、「光る君」をはじめとする個性豊かな登場人物や物語ゆかりの地などを絵画や書籍を通して消化する企画展「光る君の面影をもとめて」などの企画展を年4回開催した。	
	今後の取組方針	令和7年度も、大河ドラマの放送などによって高まった『源氏物語』への関心を一過性で終わらせないため、引き続き、企画展を開催する。	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	特別企画展は、歴史資料館の特別展と隔年で実施する。令和6年度は、歴史資料館の特別展開催年度であるが、令和6年1月から放送された大河ドラマ「光る君へ」の放送にあわせて実施した。
主な市の事業 (令和6年度)	源氏物語ミュージアム 特別企画展 博物館管理課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	「『源氏物語』が呼んでいる―広がる古典の世界―」 会期:令和6年7月10日(水)～9月29日(日) 入館者数:45,066人
検証・評価	分析・考察	令和6年度の特別企画展では、『源氏物語』に関する江戸時代の注釈書や関連書籍のほか、屏風絵などの絵画や工芸品など、他館の史料も含めて、『源氏物語』の世界を紹介した。	
	今後の取組方針	令和7年度も、大河ドラマの放送などによって高まった『源氏物語』への関心を一過性で終わらせないため、引き続き、特別企画展を開催し、併せて効果的な情報発信を行う。	



<p>取り組む柱</p>	<p>5 情報の発信</p>	<p>事業概要</p>	<p>宇治の歴史及び文化財に関し、様々な視点からテーマを設定して、展覧会を開催する。</p>
<p>主な市の事業 (令和6年度)</p>	<p>歴史資料館 企画展 博物館管理課</p>	<p>令和6年度実績 (日程・参加者数等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇治茶 名所絵から製茶図まで」 会期:令和6年5月11日(土)～6月23日(日) 入館者数:1,311人 ・「戦争遺品展 戦時中の暮らし」 会期:令和6年7月6日(土)～9月1日(日) 入館者数:2,478人 ・「黄檗山萬福寺ー普茶料理・豆腐羹ー」 会期:令和6年9月14日(土)～12月1日(日) 入館者数:2,095人 ・「ちょっと昔の街と暮らし おとぎ電車が走った頃」 会期:令和6年12月14日(土)～令和7年2月9日(日) 入館者数:1,460人 ・「発掘ものがたり宇治・2025」 会期:令和7年2月22日(土)～4月20日(日) 入館者数:1,032人
<p>検証・評価</p>	<p>分析・考察</p>	<p>市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられるテーマを選び、企画展を実施した。</p>	
	<p>今後の取組方針</p>	<p>今後も、展覧会を通して市民が継続的に歴史資料に親しみ、その重要性を知る機会を提供し、宇治の歴史及び文化について理解を深めることができるよう、工夫を凝らした展示の実施に努める。</p>	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	旧暦の七夕に合わせて京都府内の各所で開催されている「京の七夕」と連携し、宇治の風情を醸し出す情緒豊かな「京の七夕 in Uji」としてオリジナルの演出で実施する。
主な市の事業 (令和6年度)	京の七夕 in Uji 観光振興課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	期間:令和6年8月2日(金)～4日(日) 場所:京都府立宇治公園周辺一帯、他 内容:ライトアップ (宇治公園、天ヶ瀬ダム、宇治発電所、茶づな)、 願いが叶う道、七夕夜市、宇治発電所特別公演、 天ヶ瀬ダムスタディツアー、茶づな de 水占い、 集まれ子どもたち！楽しく学ぼう七夕まつり 等 参加者数:約1.5万人(関連イベント1万人) 主催:京の七夕in Uji 実行委員会
検証・評価	分析・考察	宇治オリジナルの昼夜の演出により、観光の振興と活性化を図ることが出来た。	
	今後の取組方針	引き続き、宇治らしさを生かした夜のにぎわいづくりを推進する。	
			

取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	京都アニメーションと連携し、紫式部ゆかりのまち宇治のPRを実施。
主な市の事業 (令和6年度)	京都アニメーションとの連携 観光振興課	令和6年度実績 (日程・参加者数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部ゆかりのまち宇治キービジュアル、ロゴマークの作成 ・「響け！ユーフォニアム」と「源氏物語・宇治十帖」の世界がコラボしたオリジナルイラストの作成 ・PR 動画「うじには物語がある」作成 ・キービジュアル等を活用したポスター掲示、車両広告等
検証・評価	分析・考察	紫式部ゆかりのまちである宇治の歴史・文化・観光の魅力を、新たな形で幅広い年代の方に発信することができた。	
	今後の取組方針	今後も、キービジュアル等を活用した魅力発信とまちの活性化に努める。	



(2) 「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の取組について

大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に、市民及び観光客に宇治の歴史・文化・観光の魅力を発信するため、「“ほんまもん”の素晴らしさを伝える」「源氏物語の世界を伝える」「ゆかりの地との連携」の3つを柱とし、地元事業者や交通事業者などで構成している「紫式部ゆかりのまち宇治推進プラットフォーム」とともに取り組んでいる「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の取組について、ご報告します。

記

1. これまでの取組結果

大河ドラマ「光る君へ」の放映を契機に取り組んだプロジェクトの状況について、大河ドラマ放映中の観光消費額は、コロナ前と比較すると大幅に増加となっており、源氏物語ミュージアムや大河ドラマ展の入場者数等からみても、経済効果はあったと推測できる。

また、源氏物語ミュージアム令和6年度連続講座「紫式部とその時代」等の各講座の応募状況や、寺院の非公開文化財の特別公開への観覧者数等からみると、歴史・文化に関心が高く、興味を持たれた方が多いことが分かった。

①大河ドラマ放映中の観光入込客数

令和6年1月～12月	6,144,980人	(前年比1,225,921人増)
内、源氏物語ミュージアム※	279,494人	(前年比181,084人増)
大河ドラマ展※	109,474人	(純増)

※大河ドラマ展開催期間中(令和6年3月11日～令和7年1月13日)		
の入場者数		
・源氏物語ミュージアム	207,939人	
・大河ドラマ展	117,160人	

②観光消費額

令和6年11月実施の宇治市観光動向調査(速報値)

- ・日本人 6,583円(令和4年度比292円増/平成28年度比2,537円増)
- ・外国人 18,974円(令和4年度調査なし/平成28年度比12,747円増)

③主な取組 ※令和5・6年度の取組の詳細は別紙1参照

- ・源氏物語ミュージアム令和6年度連続講座 全10回 1,469人
各回定員(80人)越えが続いた。特に第7・8回は、応募多数であったため、会場を講座室から文化センター小ホールに変更し、多くの方に受講いただいた。
- ・宇治駅・黄檗駅周辺の寺院の非公開文化財の特別公開 5寺院 計1,475人
普段見ることのできない貴重な仏像等の公開が各寺院を中心とした宇治の歴史を知るきっかけになった。
- ・スプリングコンサート2025 ～めぐりあう雅楽と吹奏楽～ 1,300人
宇治市内の中学・高校の演奏や、雅楽演奏会だけでなく、普段触れる機会がない雅楽器の演奏体験は、老若男女問わず多くの参加があった。

④連携の状況

- ・鉄道駅でのサイネージやポスター掲示、SNSやWEB広告、ラッピングバスの運行など、各事業者との連携による魅力発信に努めたことにより、多くの観光客の訪問に繋がった。
- ・紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトとして、一貫性のある発信や包括的な一体感のあるプロモーションができれば、より効果的な広報になったと考える。
- ・観光事業者等とのプラットフォームでは、連携した取組を通じて、「コロナ前の市内の活気を感じた、今後はより連携を密にしたい」という意見があった。

2. 今後の取組の方向性

宇治の歴史・文化に興味を持たれる方が多く、宇治への関心が高まっていることから、今後も引き続き、文化の醸成と宇治観光のブランド力を強化し、宇治のまちの更なる魅力発信を推進していく。

(令和7年度の取組) ※詳細は別紙2参照

「千年のときを超え、感じる“ほんまもん”の宇治」をテーマに文化の醸成、宇治観光のブランド力を強化するための取組を実施し、あわせて、「紫式部ゆかりのまち」としての包括的なプロモーションを展開し、宇治のまちの魅力を発信する。

①源氏物語への興味・関心を「深める」

源氏物語ミュージアム特別企画展示など

②宇治の歴史や文化を「体感する」

鏡・瓦のミニチュア製作体験など

③紫式部ゆかりのまちの魅力を「伝える」

WEBやSNSによる効果的な情報発信やキービジュアルを活用した魅力発信など

紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト 令和5年度からの主な事業一覧

「ほんまもん」の素晴らしさを伝える		日時・参加者数など
大河ドラマ展		令和6年3月11日～令和7年1月13日 117,160人
大河ドラマトークショー		令和6年3月20日 865人来場/3,624人応募 令和6年6月22日 1,103人来場/22,725人応募 令和6年9月28日 約1,000人来場/8,329人応募
なりきり平安装束体験		令和6年11月16日、17日、23日、24日、30日、12月1日 計55人
五感で楽しむ古の文化講座		令和5年6月10日、8月2日、11月5日、令和6年2月10日 計160人 令和6年6月22日、8月7日、12月15日、2月1日 計151人
鏡・瓦のミニチュア製作体験(対象:小中学生)		令和6年12月14日、15日 計9人
宇治駅・黄檗駅周辺の寺院の非公開文化財の特別公開		令和6年10月5日、6日、12日、13日 計1,475人
スプリングコンサート2025～めぐりあう雅楽と吹奏楽～		令和7年3月22日 1,300人
宇治のまち魅力再発見 ～小学6年生を対象にした中宇治でフィールドワーク～		大河ドラマ放送期間内に実施 6年生児童1,434人 引率83人
「源氏物語の世界を伝える」		日時・参加者数など
源氏物語ミュージアム	連続講座(全10回)	令和5年/1,267人 令和6年/1,469人
	入門講座(全9回)	令和5年/755人 令和6年/852人
	企画展(全4期間)	令和5年/86,679人 令和6年/158,469人
	特別企画展	令和5年/20,288人 令和6年/45,066人
「ゆかりの地との連携」		日時・参加者数など
紫式部ゆかりのまち宇治市・越前市・大津市連携協定		令和5年6月10日協定締結
共同HPの製作・運営「かいまみる紫式部」		令和5年11月15日～継続中
NHK大河ドラマ・ガイド 光る君へ 前編への記事掲載		令和5年12月25日発売 発行部数25万部
宇治市・越前市・大津市周遊施策(紫式部謎解きまちめぐり)		令和6年6月1日～11月17日 3市合計5,753人
紫式部の旅”紫式部と藤原為時が辿った道に想いをはせる旅”		令和6年10月18日～20日 行列参加者115人(うち宇治市会場33人)
紫式部ゆかりのまちPR番組制作放映(BSよしもと)		令和7年3月23日 11:30～12:00 4月18日現在再生数13,506回
紫式部魅力発信プロモーション		日時・参加者数など
キービジュアル・ロゴマークの制作		キービジュアルの描かれたクリアファイルの作成 スタンプラリーの記念品にロゴマークを使用
宇治 PR動画「うじには物語がある」の制作		スペシャルサイト令和7年3月28日公開 4月18日現在 市サイト145,754回 京アニサイト 245,061回
「むらさきみどりいとおいし」食のいどりコンテストin宇治		令和6年11月3日 表彰イベント来場者2,100人
交通事業者との連携による広報の充実		電車広告(車体・中吊り・車内)、主要駅構内のサイネージ
広域プロモーション		東京駅構内のデジタルサイネージ 観光情報誌への掲載・WEB用バナー配信
宇治市HP特別サブサイトの創設		キービジュアルを介して宇治の魅力を徹底解説
紫式部ゆかりのまち宇治推進プラットフォームでの取組		日時・参加者数など
ドラマ展チケット半額提示特典(観光協会・各商店街)		令和6年3月11日～令和7年1月13日 参加店舗数 45店舗
源氏物語図屏風(平等院)の市内施設巡回展示		令和6年4月8日～令和7年1月13日
花と水のタペストリー絵柄「紫式部」(宇治市植物公園)		令和6年5月21日～11月下旬
源氏物語に関する植物クイズラリー春・夏・秋(宇治市植物公園)		春: 令和6年3月30日～4月14日 夏: 令和6年7月20日～28日 秋: 令和6年11月9日～24日
ジャパンコーヒーフェスティバル2024・春/秋in宇治市植物公園		令和6年5月25日、26日、11月9日、10日
京の七夕inUJl		令和5年8月4日～11日 令和6年8月2日～4日
宇治の商店街周遊企画(スプリングコンサート2025関連企画)		令和7年3月22日 参加店舗数 75店舗

紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト 令和7年度 事業予定一覧

月	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	
展 示						源氏物語ミュージアム特別企画展 月の夜に あなたの言うことを信じてと言って、そっと抱いてほしい —昂まる古典の魅力— 9/10～12/14							
	源氏物語ミュージアム企画展 「写真でつづる源氏物語、京、 そして宇治」4/23～6/29		源氏物語ミュージアム企画展 「源氏ワンダーランド」7/2～9/7						源氏物語ミュージアム企画展 「源氏物語と工芸」12/17～2/15		源氏物語ミュージアム企画展 「子どもたちの『源氏物語』」 2/18～4/19		
	屏風（合同作品）の巡回展示 5/20～3/8												
講 座						紫式部文学賞・市民文化賞贈呈式 紫式部文学賞受賞者講演会10～11月（記念イベント）							
	五感で楽しむ古の文化講座		五感で楽しむ古の文化講座		五感で楽しむ古の文化講座			五感で楽しむ古の文化講座					
	源氏物語ミュージアム連続講座（全10回）												
	源氏物語ミュージアム入門講座（3回×3月クール 全9回）												
							源氏物語セミナー 11月						
	寝殿造りVR講座 （7～3月 全4回）												
	生涯学習センター教養講座 仮名書道ワークショップ												
イ ベ ン ト							宇治十帖スタンプラリー 10/1～11/30						
							宇治田楽まつり 10/18						
							小学生百人一首大会						
				京の七夕 8/1～8/3									
			鏡・瓦のミニチュア製作体験 8/2（鏡）・8/3（瓦）										
											宇治川マラソン 2/22		
プ ロ モ ー シ ョ ン	・交通事業者との連携 ・雑誌、WEBニュースへのPR記事の掲載 ・広告掲載 ・広域プロモーションなど												
	SNSを活用した情報発信、イベント実施、キービジュアルなどを活用した魅力発信												
	食のいんどりキャンペーン 9～11月												
	宇治市・越前市・大津市連携 共同HP												
	宇治市HP（特別サブサイト）												
フ ォ ラ ー ム ト	プラットフォーム会議メンバーにて適宜、情報共有												

(3) 令和7年度の主な文化事業について【抜粋】

1. 紫式部のまち魅力発信関連事業



1 源氏物語への興味・関心を「深める」

〈 源氏物語ミュージアム特別企画展関連事業 〉

○ 源氏物語ミュージアム特別企画展示費(博物館管理課)

特別企画展「月の夜に あなたの言うことを信じると言って、そっと抱いてほしい
— 昂まる古典の魅力 —」

この特別企画展は、大河ドラマの放送によって、再注目される『源氏物語』をはじめとする古典の魅力を江戸時代の出版を通して紹介します。

『源氏物語』をはじめとする日本の古典は、江戸時代、出版というメディアを通して、多くの人々の間に浸透していきました。さらに江戸時代は、日本の古典だけにとどまらず、漢籍、経典、医書など様々な分野、こうした書籍の解説書や梗概書なども含め、多彩な版本が出版され、多くの人々に享受されていきました。そして、江戸時代中期以降になると、こうした人々の学問や教養をベースにして、江戸において、みたてとやつしによる洒落本や狂歌集、錦絵などが地本問屋から出版され、人気を博してゆきました。

本展では、蔦屋重三郎による黄表紙本や洒落本、狂歌集をはじめ、江戸時代の版本などを通して、古典の広がりとその魅力にせまります。

- ・会期: 令和7年9月10日(水)～12月14日(日)
- ・会場: 源氏物語ミュージアム 企画展示室



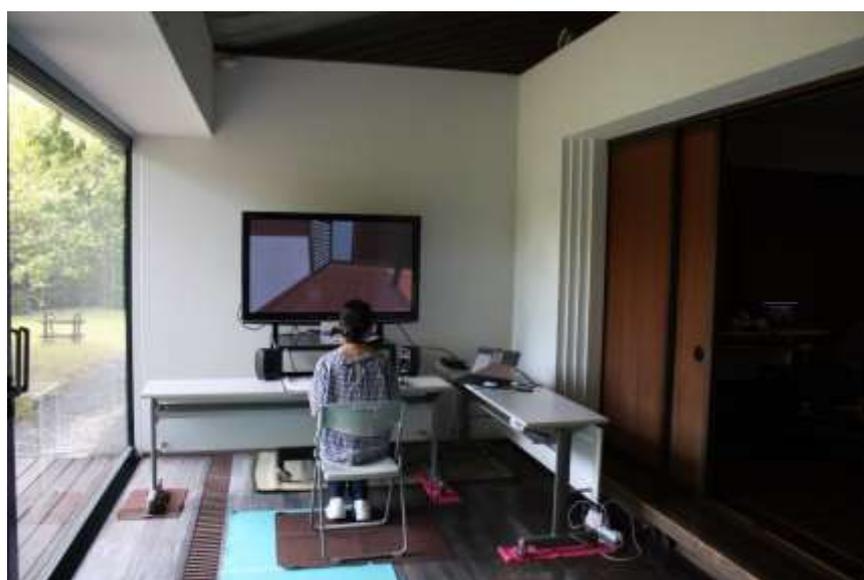
「源氏後集余情 廿四乃巻 胡蝶」(宇治市源氏物語ミュージアム蔵)

○ 源氏物語ミュージアム講座等開催費(博物館管理課)

講座「平安貴族の暮らしと文化 —VRで寝殿造のなかを歩く—」

学芸員による平安貴族の暮らしや寝殿造などの講座を実施後、「平安宮仕えVR」、「平安お屋敷散策VR」と館内見学をそれぞれ行ないます。4回の開催を予定しています。

- ・日時:令和7年8月2日(土)、3日(日) 9時半～16時
- ・場所:源氏物語ミュージアム
- ・定員:《平安宮仕えVRコース》 42人(先着順)
《平安お屋敷散策VRコース》 58人(先着順)



8月2日、3日実施した様子

2 宇治の歴史や文化を「体感する」

○ 仮名書道体験講座(生涯学習課)

仮名書道の基本を学び、実際に文字を書くことで、その魅力をさらに感じていただく。

- ・日時:令和7年9月20日(土)14時～16時
- ・場所:生涯学習センター 第2ホール
- ・定員:先着48名(要事前申込)



3 紫式部ゆかりのまちの魅力を「伝える」

〈 紫式部のまち魅力発信プロモーション事業費 〉

○ むらさきみどりいとおいし 食のいろどりキャンペーン in 宇治(秘書広報課)

宇治市内の飲食店で一定期間、一斉に紫色と緑色に着目した「むらさきみどりメニュー」を提供し、市内外問わず多くの方に楽しんでいただくことで「紫式部ゆかりのまち」を強く発信していく。

- ・期間:令和7年9月19日(金)～11月30日(日)



※画像は昨年度のものです

○ キービジュアルを活用した魅力発信と広域プロモーション(観光振興課)

紫式部ゆかりのまち宇治キービジュアル、ロゴマーク、PR 動画「うじには物語がある」の活用及びキービジュアル等を活用したポスター掲示、車両広告、マップの作成等を実施。

- WEB での PR ニュースの配信
- 雑誌掲載(春・秋に向けて年 2 回掲載)とイベントブース出展
- 交通事業者を活用したプロモーションの実施



WEB での PR
「Lmaga.jp」



2. 大阪・関西万博関連事業

○ 大阪・関西万博宇治の魅力発信事業(文化スポーツ課)

大阪・関西万博において、平安期の伝統芸能を復活継承させた「宇治田楽」を披露し、世界に向け宇治文化の魅力を発信する。

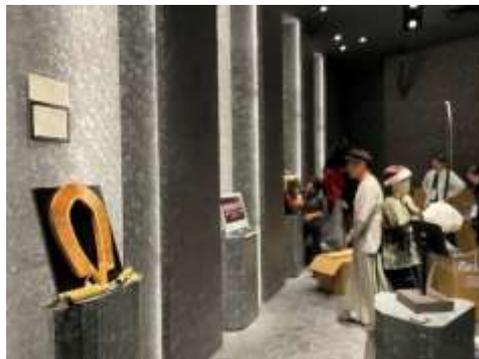
《ステージイベント》

- ・日時 令和7年5月4日(日・祝)
- ・場所 関西パビリオン多目的エリア



《展示及び実演》

- ・日時 令和7年5月19日(月)～25日(日):文化「霽れと褌(ハレトケ)」
※25日(日)のみ実演あり:①14時半～、②17時半～
- ・場所 関西パビリオン京都ゾーン



○ 大阪・関西万博出展事業費(農林茶業課)

大阪・関西万博の関西パビリオン京都ゾーンにて、呈茶を実施。

亭主が「お茶でもてなす」を実演したうえ、もてなされたお茶(抹茶または玉露)を試飲してもらう。

亭主が客人にお茶をふるまってもてなすという、古より受け継がれる「日本式お茶のおもてなし」を提供。

- ・日時 令和7年8月18日(月)、19日(火)
- ・場所 関西パビリオン京都ゾーン

3. その他の文化事業

○ 第77回関西茶業振興大会京都府大会（農林茶業課）

関西地区で生産される茶の特徴を明らかにし、生産技術や品質向上を図るとともに、茶の国内需要の増進、関西茶業の振興、並びに日本茶業の発展に寄与することを目的として開催され、令和7年度は宇治市で開催される。

- ・出品茶審査会 令和7年8月6日（水）～8月8日（金）



- ・褒賞授与式、消費拡大イベント 令和7年11月15日（土）

○ 未来へつなぐ伝統手摘みおうえん事業（農林茶業課）

市内産宇治茶の伝統である「手摘み」を将来に亘り継承していくために、お茶摘みのなり手を増やし、また定着へつながるよう秋の茶園見学及び茶摘みの実地体験ができる機会を創出。京都府茶業研究所の茶園でのお茶摘み体験・市内の茶園見学を予定。

- ・日時 令和7年9月22日（月）、30日（火）、10月9日（木） 13時半～16時頃
- ・定員 各回15名（先着順）

○ 文化祭開催費(文化スポーツ課)

市民の文化芸術活動の成果を発表する場を設けることにより、自主的な文化芸術活動を発展させるとともに、世代や地域を超えた交流が図れるよう「宇治市民文化芸術祭」を開催する。

従来より10月に実施している《展示の部・舞台の部》を中心に、文化団体が企画・運営する下記の文化事業を「宇治市民文化芸術祭」として一体的に実施する。

また、各種文化団体が自主的に企画・運営する文化事業を充実させるため、支援制度を拡充した。



※画像は昨年度のものです

《フェニックスコンサート》

- ・日時 令和7年4月20日(日) 12時～15時半
- ・場所 文化会館 大ホール

《宇治市民いけばな展》

- ・日時 令和7年5月10日(土)、11日(日) 9時～17時
- ・場所 植物公園 緑の館

《展示の部・舞台の部》

- ・日時 令和7年10月25日(土)、26日(日) 10時～17時
- ・場所 文化センター

《宇治市民絵画展》

- ・日時 令和7年11月27日(木)～30日(日) 10時～17時
- ・場所 中央公民館 展示集会室

《宇治市民写真展》

- ・日時 令和8年1月16日(金)～18日(日) 9時～17時
- ・場所 中央公民館 展示集会室

○ 歴史文化体験事業費(歴史まちづくり推進課)

松殿山荘(重要文化財)で、子どもたちの地域文化への理解と愛着の醸成を図る取り組みとして、学び・体験イベントを実施。

まず重要文化財の施設を案内してもらい、その後茶道体験をしてもらう。

- ・日時 令和7年11月9日(日) 10時～正午と13時半～15時半の2回



数値目標について

取り組む柱	評価指標	令和3年度 (計画策定時) 現状値	計画期間中 目標値	令和6年度 実績	備考
1 機会の充実	暮らしを豊かにするうえで文化芸術を必要と思う市民の割合	79.9%	85%	72.7%	令和7年7月実施アンケート調査結果より
	文化芸術を鑑賞している市民の割合	74.9%	81%	64.9%	令和7年7月実施アンケート調査結果より
	市民交流ローバーコンサートの観覧者数	3,780人 ※平成30年度分	4,300人	1,960人	
2 交流の促進	宇治市民文化芸術祭の来場者数 (舞台の部・展示の部 合算)	6,400人 ※令和元年度分	7,500人	4,496人	
3 活動の促進	文化芸術活動をしている市民の割合	29.8%	36%	22.2%	令和7年7月実施アンケート調査結果より
	文化センター利用者数	137,194人 ※平成30年度分	150,000人	99,422人	
4 担い手・支え手育成	(高校生以下の)同居の子の暮らしを豊かにするうえで文化芸術を必要と思う市民の割合	79.6%	86%	85.7%	令和7年7月実施アンケート調査結果より
	宇治市少年少女合唱団 団員数	36人	50人	22人	
5 情報の発信	宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル動画総再生回数	34,219回	210,000回	232,767回	
	宇治市公式LINEで「まなび・文化」で通知設定している人	679人	1,150人	3,500人	「文化・芸術・スポーツ・まなび」で通知設定している人の人数(令和7年4月16日時点) ※受信設定区分の変更に伴い、「文化」のみの設定人数の把握は不可となった。

(4) 令和7年度「源氏ろまん2025」(案) について

令和7年度「源氏ろまん2025」(案) を作成しましたので、ご報告いたします。

なお、令和6年度に引き続き、源氏ろまん事業及び同時開催事業の一部については、「“ほんまもん”の素晴らしさを伝える」「源氏物語の世界を伝える」「ゆかりの地との連携」の3つを柱に、市民及び観光客に宇治の歴史・文化・観光の魅力を発信する、「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の一環として実施します。

1 源氏ろまん事業

(1) 宇治十帖スタンプラリー ～スマホで巡る～

○日時 令和7年10月1日(水)～11月30日(日)

○会場 宇治橋を中心にした約20ポイント(宇治十帖ゆかりの地など)

○内容 スマートフォン等のGPS機能を使用したスタンプラリーのほか、スマートフォンをお持ちでない方向けにウォーキングマップを配布し、紫式部ゆかりの地を紹介します。

また、スマートフォンで参加される場合、スポットにおいて音声ガイドを聞くことができます。宇治十帖踏破者へは記念のオリジナルバッジを進呈します。さらに、抽選で宇治の多様な体験ができる賞品を準備します。

○参加予定数 7,500人～9,000人程度

(2) 第35回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞受賞作品発表

○日時 令和7年10月7日(火) 14:00～15:00

○会場 宇治市源氏物語ミュージアム 講座室

○内容 受賞作品発表

主催者(宇治市長、宇治市教育委員会教育長)

紫式部文学賞選考委員長 鈴木 貞美 氏

紫式部市民文化賞選考委員長 中川 成美 氏

(3) 宇治田楽まつり

- 日時 令和7年10月18日(土) 17:00~18:30
- 会場 京都府立宇治公園中の島および周辺(雨天:宇治市文化会館 大ホール)
- 内容 平安時代の代表的な芸能である田楽を「ふるさと宇治」のまつりとして市民の手で復活させた「宇治田楽まつり」を開催し、宇治の文化と魅力を広く発信します。

(4) 第35回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞贈呈式及び紫式部文学賞受賞者講演会

- 日時 令和7年11月22日(土) 13:30~16:00
- 会場 宇治市文化会館 小ホール
- 内容 贈呈式及び紫式部文学賞受賞者講演会
第1部 贈呈式
主催者(宇治市長、宇治市教育委員会教育長)
「紫式部文学賞」
「紫式部市民文化賞」
「紫式部市民文化賞奨励賞」
「紫式部市民文化賞ユース賞」
〈講評〉紫式部文学賞選考委員長 鈴木 貞美 氏
紫式部市民文化賞選考委員長 中川 成美 氏
第2部 紫式部文学賞受賞者講演会
〈演題〉未定
〈講師〉第35回紫式部文学賞受賞者
- 募集人数 380人(応募者多数の場合抽選)

(5) 源氏物語セミナー

- 日時 令和7年11月26日(水) 14:00~15:30
- 会場 宇治市文化会館 小ホール
- 講師 山本 淳子 氏(京都先端科学大学教授)
- 演題 夢を見る光源氏、夢を見ない薫
- 内容 『源氏物語』への理解を広めることを目的に、毎年度、様々なテーマを設定し、源氏物語セミナーを開催します。今年度は、登場人物の夢体験に注目し、夢のもつ意味について考えます。
- 募集人数 380人(応募者多数の場合抽選)

2 同時開催事業

(1) 宇治市源氏物語ミュージアム 特別企画展

「月の夜に あなたの言うことを信じると言っ、そつと抱いてほしいー昂まる古典の魅力ー」
江戸時代の版本などを通して、『源氏物語』をはじめとする古典の拡がりとその魅力にせまります。

○会期 令和7年9月10日(水)～12月14日(日)

○会場 宇治市源氏物語ミュージアム 企画展示室

(2) 宇治市源氏物語ミュージアム 連続講座

「昂まる古典の魅力ーよむ・みる・書き留めるー」

江戸時代、牛車に興味を持った二人の研究の足跡をたどります。

○演題 江戸時代の牛車好きー新井白石と松平定信ー

○日時 令和7年10月16日(木) 14:00～15:30

○会場 宇治市源氏物語ミュージアム 講座室

○講師 京樂 真帆子 氏(滋賀県立大学教授)

○募集人数 80人(応募者多数の場合抽選)

(3) 百人一首大会

古典に親しむきっかけとなるよう、市内の小学生による百人一首大会を開催します。

○日時 令和7年11月3日(月・祝) 9:30～16:00

○会場 宇治市生涯学習センター 第1ホール

○募集人数 60人(応募者多数の場合抽選)

(4) 五感で楽しむ古の文化講座 みんなで楽しむ古の音色ー雅楽であそぼ!ー

子どもから大人まで誰もが楽しめる、千年以上前から日本に伝わる雅楽のコンサートを実施します。

○日時 令和7年11月9日(日) 14:00～15:00

○会場 宇治市生涯学習センター 第1ホール

○講師 雅楽ユニット「はねうさぎ跳兎」

○定員 100人(申込不要。先着順)

(5) 宇治茶まつり

茶祭式典、茶筌塚供養、茶席、名水汲み上げの儀 他

○日時 令和7年10月5日(日) 9:00~15:00

○会場 興聖寺、宇治上神社、京都府茶業会館、宇治橋三の間

(6) 宇治市民文化芸術祭

市民の文化芸術活動の成果を発表する場を設けることにより、自主的な文化芸術活動を発展させるとともに、世代や地域を超えた交流が図れるよう開催します。

《フェニックスコンサート》

○日時 令和7年4月20日(日) 12:00~15:30

○会場 宇治市文化会館

《宇治市民いけばな展》

○日時 令和7年5月10日(土)、11日(日) 9:00~17:00

○会場 宇治市植物公園

《展示の部・舞台の部》

○日時 令和7年10月25日(土)・26日(日) 10:00~17:00

○会場 宇治市文化センター

《宇治市民絵画展》

○日時 令和7年11月27日(木)~30日(日) 10:00~17:00

○会場 宇治市中央公民館

《宇治市民写真展》

○日時 令和8年1月16日(金)~18日(日) 9:00~17:00

○会場 宇治市中央公民館

(7) 高校生文化芸術祭典 FUN×FAN×FES

市内の高校生による実行委員会で文化祭を企画し、舞台発表や作品展示を通じて交流を行います。

○日時 令和7年12月14日(日) 10:00~17:00

○会場 宇治市文化センター